

## ユニバーサルデザイン教育啓発事業(他区の状況)

資料2

	対象	内容	講師	資料	備考
大田区	小学4年(25校)・中学(3校)・高校(1校)	・障害当事者等による講話・疑似体験(90分) ・知的障害ワークショップ ・まち点検 ・学習発表会	障害者団体の方	ハンドブック (独自作成)	年度末に全体校長会にて講座の説明を行い、手あげ方式で実施する学校を決定している。
	地域(年4回程度)	障害当事者等による講話・疑似体験を通し、障害等への理解。ユニバーサルデザインの考え方の理解、相互扶助、コミュニティづくり等を学ぶ。			26年度に30年度までの地域の実施計画を決定している。 各地域ごと順番に行っている。
	職員(各1回)	障害当事者の方とのふれあいや講話・疑似体験を通し、障害等への理解、心のバリアフリーを進める。			・福祉、営繕部門にて新人、異動した職員に行っている(半日) ・2年目職員(1日)
世田谷区	小学4年(5~6校)	ユニバーサルデザインの考え方の講話 (社会福祉協議会との共催の場合は、車イス、白文、点字体験を実施)	担当職員(社協との共催の場合は障害者団体の方と一緒にいる)	ハンドブック (独自作成)	年度末に全体校長会にて講座の説明を行い、手あげ方式で実施する学校を決定している。
	事業所(年1回)	ユニバーサルデザインの考え方の講話	担当職員	なし	事業所から依頼を受け行っている。
	職員(新人と一般職員)				まちづくり課と人事課が共催で行っている。
江東区	小学4年(27年度10校・28年度17校)	95分のユニバーサルデザインの考え方の講話と体験のパッケージを作成し実施(21年度から開始)	障害者団体の方	冊子・DVD	18年度からエリア限定のサインづくりが始まったのをきっかけに、ワークショップ(区民公募17人、職員18人、優しいまちづくり相談員14人、ファシリテーター)を行い、講座や毎年度の事業の方向性を決定している。
	地域(商店街・金融機関)	街歩き体験(28年度から開始)			